「保温材を
すべて剥いで
検査しなくては
いけない・・・」
という脅迫観念は
ありませんか？

外面腐食 対策ガイド 誕生

設備高経年時代に対応する
「設備総点検プログラム」
第一弾

その検査は必要ですか？

特徴１

相反する「網羅性と経済性」を両立したプログラム！

すべてを「網羅」したい ＝コストがかかる ⟷ できるだけ「安く」したい ＝リスクが増える

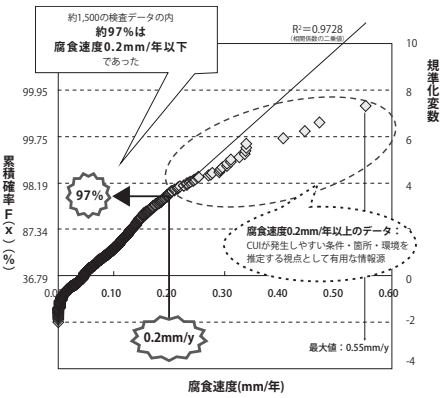
「外面腐食」は、あらゆる分野（製造業・社会資本）の課題となっています。とくに、保温材を巻いた「配管の外面腐食」に手を焼いています。
なぜなら、検査費用が高く経営を圧迫しているからです。
「保温材をすべて剥いで検査しなくてはいけない・・・」という脅迫観念が蔓延しています。
本ガイドは、必要な検査に絞るための「実用的規準」（腐食発生速度）を提示して、設備ユーザーの脅迫観念を払拭したいと考えています！

A4 版、210 ページ、実費頒布対応
書店流通はありません。

特徴２

史上初 !!
「実用的規準」を提示！

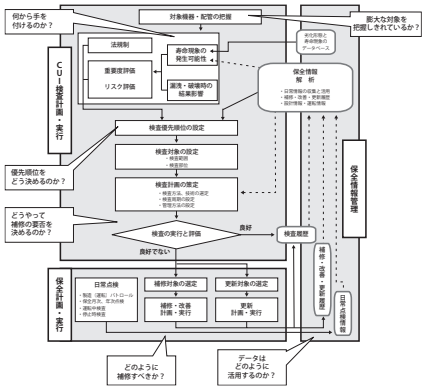
ムダな検査から経営を解放



特徴３

史上初 !!
外面腐食「保全」の全サイクル！

全体最適によるコストダウン !!



特徴４

日本を代表する参画企業のコンセンサス

史上初 !!
石油化学・石油精製の代表企業が集結！

実プラントデータ約 1500 を収集・分析！

設備ユーザーのための
「外面腐食研究会」参加企業
（会社名 50 音順）
- 旭化成株式会社
- 旭化成ケミカルズ株式会社
- 旭硝子株式会社
- JX 日鉱日石エネルギー株式会社
- 昭和電工株式会社
- 新日鐵化学株式会社
- 住友化学株式会社
- 三井化学株式会社
- 三菱化学株式会社

特徴５

超豊富！
検査、補修、改善、設計の写真と図解。

現場即対応！

目視検査のポイントと
判定基準は**カラー写真**

社団法人日本プラントメンテナンス協会　外面腐食研究会編

お申込みは、パンフレットまたは JIPM ホームページから！